

育 Me 科 学習指導案 「こんなときは注意！」

○ねらい

危険な場所や状況を知るだけでなく、誘拐されそうになったときの対処法を身につけることで誘拐事件の被害を予防できる。

○活動の流れ

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入 5分	<p>1 あいさつ</p> <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に帰ってから、外に遊びに行くことがあるかを問う。 (例)ある、ない。 ・外に遊びに行ったときに怪しい人に出会った経験があるかを問う。 (例)ある、ない。(ある場合、その状況を聞く。) ・怪しい人のことを「不審者」と呼ぶことを教え、課題を提示する。 <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">不審者から自分を守ろう。</div>		
展開 35分	<p>4 不審者がいそうな危険な場所について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所は「見えにくい場所」「声が届かない場所」「紛れ込みやすい場所」であることを伝え、それぞれどんな場所かを確認する。 (例)見えにくい場所…トンネル、公園の木陰、駐車場、裏通り、エレベーター等 ・声が届かない場所…工事現場の近く、高架下等 ・紛れ込みやすい場所…繁華街、人が多い場所(遊園地)等 ・近所の「危険な場所」について、全員で確認する。 (例)道の駅からホテル方面へ抜ける道路 <p>5 不審者に出会った場合の対処法について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者が誘拐しようとするときどんな声をかけてくるか考える。 (例)好きなものを買ってあげる、道がわからないから教えて欲しい等 ・自分の身を守るポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所が近所にはなくても、遠出をした場合などに気を付ける必要があることを認識させる。 ・防犯ブザー等の確認も行うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「危険な場所」の学習参照 ・1・2年ばいかも「ぜったいについていけない」参照
	<p>知らない人には”おちつこう”</p> <p>=①大きな声で助けを呼ぶ②近寄らない③ついていかない④怖くなったらすぐ逃げる⑤家に帰って伝える</p>		
	<p>6 ロールプレイ</p> <p><モデリング></p> <p>・いかにも不審者という場合と、普通の恰好で上手に近づいてくる不審者という場合を教師がモデリングで示す。</p> <p>・「自分の身を守るポイント」を使い、不審者に出会った場合の対処を練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者役は教師が行う。児童は教室内を自由に動き回る。 	
まとめ 5分	<p>7 ふりがえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに授業の感想を記入する。 ・<u>実際に不審者に出会ったときは、恐怖のあまり声が出なかったり、何もできなくなったりすることや、そのとき自分はどうするか、普段から考えておくことが大切なことをおさえる。</u> ・万が一、危険な目にあった場合には家族や先生に報告するよう伝える。 <p>8 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布 	